2023 年度（春スタート・1 セメスター）
誠信女子大学

H. O. メディア創造学科　２年次

Ⅰ．留学レポート

①　協定留学を目指した理由

私が韓国に興味を持ったのは小学生の頃に見た韓国ドラマでした。中学生になるとドラマや映画だけではなく韓国の歌手や文化にも興味を持ち、友達と一緒に韓国語の勉強を始めました。留学を考え始めたのは高校生の頃で、当時はなんとなく留学してみたいなと思う程度でした。大学生になり、何か新しいことに挑戦してみたいと考えていた時に韓国への留学制度があることを知って応募を決めました。

②　留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

特に勉強と言えるようなことはしていませんでしたが、毎日ドラマや映画を見たり音楽を聴いたりして韓国語に触れていたのが役に立ったと思います。また、字幕無しで視聴したり、日本語ではなく韓国語字幕にしたりなど、分からない単語はすぐに調べるよう心がけていました。ドラマやライブ配信などをよく視聴していたことで、韓国の人たちが実際に使用している言葉遣いなども知ることができたと思います。

③　留学決定から出発までの準備期間

留学先で履修した正規科目は、卒業に必要な科目（科目区分・群）に読み替えることができます。そのため、履修したい授業を早い段階から考えなければなりません。留学年度の開講授業やシラバスは登録期間直前までわかりませんが、昨年度の授業を参考にして多めに読替依頼をお願いすると戸惑わずに履修登録に挑めると思います。ビザは大阪の大使館へ申請をしに行くのですが、事前にホームページで必要書類等を調べて用意していたため申請自体はそれほど難しくありませんでした。しかし、申請後受け取りまでに 2 週間程かかったので余裕を持って早めに準備を行うことをお勧めします。

④ 現地到着後

授業自体は 3 月から始まりますが、入寮日は 2 月上旬でした。新型コロナウィルス感染症による隔離期間が廃止されたので空港到着後は 1 時間半程かけて自力で寮へ向かい、その日中に PCR 検査も受けに行かなければなりませんでした。私は地下鉄で移動しましたが、荷物が多くて大変だったのでバスなどを利用するのが良いと思います。病院や銀行へ行かなければならなかったり、荷解きや日用品を買いに行ったりと到着後 2、3 日は忙しかったです。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

語学堂は、オンラインで行われるレベル分けテストによって 1~6 級に分けられます。クラスによって教室の広さなどが違い、私のクラスが使用していた教室は少し寒く狭かったのですが、その分クラスメイトと会話をしやすかったように感じます。同じクラス内に日本人

はほとんどおらず、ベトナムやモンゴルから来た子が多かったです。

◆授業内容、課題、試験

毎日月曜日から金曜日の 9~13 時まで 4 時間行われ、1 単元で 4 技能すべてを学びます。課題は先生や級によって違うようでしたが、私のクラスはその日習った範囲のワークブックでした。テストに関しては小テスト、中間、期末とあり、どれもテキストから出題されるので授業をしっかり受けていれば問題ありません。

⑥ 正規科目履修期間

◆大学の施設・環境について

学校全体に Wi-Fi が完備されているのでパソコンを使用するのにも問題なかったです。休憩時間は 10 分間しかなく、坂や階段も多かったので教室移動が大変でした。図書館や自習室が 24 時間利用可能ということもあり、テスト期間は多くの人が利用していました。出欠確認や図書館、自習室の利用はスマホアプリで行なうのでダウンロードが必要です。

◆履修科目

・「デジタルメディアリテラシー」

所属学科の授業です。AI などメディアの発展や著作権、映像制作、ポッドキャストについて学びました。

・「韓国文化の理解」

留学生のための授業です。韓国の食べ物の歴史や世界遺産などについて書かれた長文を読み解きながら、韓国の文化について学びました。

・「国際学生のための筆記」

留学生のための授業です。レポートなど韓国語での筆記の際に必要な文法や書き方を学びました。

◆授業、レポート、定期試験

・「デジタルメディアリテラシー」

グループを組んで 30 秒程の映像を制作する課題があり、企画から撮影、編集まで全て自分たちで行いました。試験は中間、期末共に代替課題で評価され、中間はレポート、期末は 5 分程度でラジオ番組のようなポッドキャストを制作するというものでした。

・「韓国文化の理解」

グループで韓国の世界遺産を訪問してプレゼンをするという課題がありました。レポートはなく、1 時間程の定期試験でした。

・「国際学生のための筆記」

授業で取り上げられるテーマが難しく毎回課題もあり、1 番大変な授業でした。定期試験は記述式でしたが、事前に出題問題を提示してくれたのでしっかりと準備すれば問題ありませんでした。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特に参加していませんでした。

⑧ 現地での住まいについて

学校から徒歩 1、2 分程の距離にある指定の寮にルームメイトと 2 人で滞在していました。冷蔵庫や洗濯機、電子レンジなど、生活家電はありましたが、ベッドがとても硬いのでマットレスなどを購入することをお勧めします。食事は、スーパーで購入したものを食べたり、寮周辺に飲食店が多かったので外食やテイクアウトをしたりしていました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

1 学期間だったので長期休暇はありませんでした。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

2 年次生での留学だったため、就職活動には取り組んでいません。

Ⅱ．留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学期間中に誕生日を迎えたのですが、友達がサプライズでチキンやケーキを準備してお祝いしてくれました。計画してくれていたことを全く知らなかったので、とても嬉しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

一つの授業が約 3 時間ということに加え、昼休みも無く 10 分休憩のみだったのが辛かったです。朝から夕方まで一日中授業のある日があり、学校外で受ける授業もあったので移動も大変でした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

歩行者と車やバイクとの距離が近いことに驚きました。また、韓国は日本に比べてクレジットカードで支払うことが多いため、現金を持ち歩かなくても良かったのが便利でした。

Ⅲ．留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

無料で昼食やお菓子などをもらえるイベントがたくさんありました。また、YouTube 等の撮影で芸能人が学校に訪れることも多かったです。学校周辺にはカフェや飲食店などが多く揃っていたのも便利でした。悪い点としては、毎朝教室まで急な坂を登らなければならなかったことです。学校からの連絡事項の伝達も少し遅かったように感じます。

② 日本から持っていって、特に役に立ったもの

トラベル用の小さいケトルを持って行ったのですが、お湯が必要になる場面が多かったので便利でした。ふりかけや味噌汁等の日本食はたくさん持っていくことをお勧めします。ppt の作成や授業資料がデータ配布されることがほとんどなので、パソコンまたはタブレッ

トは必須です。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

しっかりと自分の意見を持ち、広い視野で物事を考えることができるようになりました。問題が起きた時誰かに頼ってばかりいるのではなく、自分自身でよく考えて解決する力も身についたと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に対して期待を抱くと共に不安を感じる人も多いと思います。私自身、留学が初めての海外ということがあり、心配や不安を感じていました。しかし、日本で生活している時にはわからなかったことにも気づくことができ、韓国の様々な一面を知ることができました。楽しいことだけではなく大変なこともたくさんありましたが、振り返ってみると良い経験だったと思います。これまでは新型コロナウィルス感染症の中で制限が多かったのですが、現在は新型コロナウィルス感染症以前の状況に戻ってきています。留学によって多くの出会いや学びを得て、成長できるはずです。ぜひ、勇気を出して一歩を踏み出してみてください。

Ⅳ．将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

韓国の授業で学んだことを、これから日本で受ける授業に活かすことができるよう取り組みたいと考えています。様々な角度から物事を捉え、興味のあることは積極的に挑戦できる人になりたいです。

Ⅴ．写真

映画館の座席の写真です。
何度か映画を見に行ったのですが、ボタン操作で背もたれだけではなく、足も伸ばせるようになっている座席の時がありました。ほとんどの映画館が日本よりも座席が快適で驚きました。

課題で映像制作を行なった際に作成した絵コンテです。
セリフやカメラワークなどを一つ一つ相談しながら決めました。じゃんけんに負けて主役で出演することになってしまいましたが、貴重な経験になりました。

授業終わりに友達とピクニックをした時の写真です。
学校内に貸し出し用のレジャーシートがあり、芝生の上でピクニックができるようになっています。天気が良い日だったので、ピザとタッカンジョン（韓国式からあげ）をテイクアウトして食べました。

サプライズで用意してくれた誕生日パーティーです。
チキンやラーメン、アイスケーキまで準備してくれていて、とても嬉しかったのを覚えています。たくさんの人からお祝いしてもらえて特別な誕生日になりました。